



日本放射線看護学会 第13回学術集会
市民講座



申込はこちら
google form にとびます

放射線リスクコミュニケーション ー いかにしてナラティブとサイエンスを繋ぐかー

日時

令和6年9月15日(日) 13:00~14:00

場所

鹿児島大学稲盛会館
キミ&ケサメモリアルホール

参加無料
要・申込

2011年に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故により、放射性物質が環境中に放出されました。

科学的には、事故以前から環境中に放射性物質が存在します。しかし、事故以前の私たちの生活の中で、放射性物質の存在は認識されていませんでした。

放射線のリスクコミュニケーションの難しさのひとつは科学的事実と私たちの認識(ナラティブ)をどう繋ぐかにあります。

講師が現場で体験した様々なエピソードも交えながら、放射線リスクコミュニケーションの発展と進化に挑みます。

環境省から、最新の取組「ぐるぐるプロジェクト」についてもご紹介します

講師

山口 拓允 先生

東京医科大学医学部
看護学科 講師



2021年長崎大学大学院医歯薬学総合研究科修了。医学博士。
専門は放射線リスクコミュニケーション。長崎市保健所、環境省大臣官房環境保健部放射線健康管理担当参事官室、公益財団法人原子力安全研究協会放射線災害医療研究所、千葉大学予防医学センターを経て、2024年4月より現職。

話題提供

環境省 大臣官房環境保健部
放射線健康管理担当参事官室
藤谷 紋子 担当官



ぐるぐるプロジェクト
公式ホームページ

ぐるぐるプロジェクトは、令和3年に環境省が立ち上げたプロジェクトです。東京電力福島第一原子力発電所事故に関連する放射線の健康・遺伝影響に関する不安を解消するために、今わかっている科学的な情報を発信し理解の輪を広げることを目指し、情報を読み解く力と風評にまどわれない判断力を身につける場を創出するための5つの活動を展開しています。

(URL) <https://www.env.go.jp/chemi/rhm/portal/communicate/>

詳細情報
申込フォーム

申込・お問合せ先



鹿児島大学
地域防災教育研究センター

☎ 099-285-7234 ✉ bousai@kuas.kagoshima-u.ac.jp

※ Webフォームからの申込にご協力お願いします

共催

